



正しい交通ルールを身につけよう!
～各小学校春の交通安全行事より～

平成23年 5月号

広報 

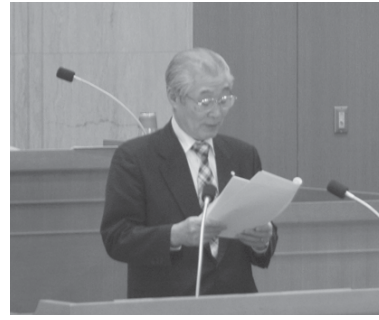
いしし富士

No.222

平成23年度

町政執行方針

「夢と希望のもてる
住みよい利尻富士町」
を目指して



平成二十三年度第一回利尻富士町議会定例会の開会にあたり、平成二十三年度の町政を執行するにあたって基本的な方針を申し上げますので、議会の皆様を始め町民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご承知のとおり本町は、昨年九月三十日に町民皆様方のご支援とご協力により開町一三〇年という記念すべき年を終えることができました。その中であつて永年の懸案であつた防災拠点施設として、鬼脇地区にあつては「鬼脇支所・鬼脇歯科診療所」、駕泊地区には総合交流促進施設「りぷら」を完成することができ、今後は有事の際の防災避難施設として、また地域コミュニティの拠点施設として町民の皆様

親しみを持つて頂きながら、交流促進が図られるものと思つていきます。これからは、これら整備された施設を有効に活用して「人の和」を大切にしながら「ふるさと利尻富士町」が魅力と活力溢れる町として益々躍進するよう、今年度も全力を傾注して取り組んで参りますので、皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

町政の根幹は「豊かなまちづくり」を基本に町民生活を安定させることであり、そのためにはこれまで私が唱えてきた「協働のまちづくり」によって「地域住民の和・絆」を深めながら町民が心を一つにして何事にも前向きに取り組む気概こそが何よりも大切であり、混乱している時代だからこそお互いが知恵を出し合い、議論を深めながら「やる気と元気」を喚起して利尻富士町の活性化に結び付けたいものと思つていきます。

今後の課題は、現状の社会動向を注視しながらも見誤ることなく、産業の振興と雇用の安定を重要課題として取り組むとともに、将来を見据えて次世代の若者に負担を残すことがないよう、引き続き行財政改革を推進して健全財

政の維持に努めますのでご支援を賜りますようお願い申し上げます。

先般、北海道から昨年十月一日現在の二〇一〇年国勢調査結果の道内速報値が発表されました。本町は前回調査から二〇二人（六・二％）が減少して、三、〇三七人となりました。この国勢調査人口は、地方交付税の算定基礎となることから重要な数値であり、本町の財政運営にも少なからず影響があるものと思ひますが、結果は結果として踏まえながら財政の健全化を維持しつつ「町民の視点」に立つて住民サービスの低下を招くことがないよう取り組んで参ります。

平成二十三年度の町政の執行については、地域経済や地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、開町一四〇年に向けての初年度として「夢と希望のもてる住みよい郷土利尻富士町」の発展を目指して、次の五つの目標を掲げながら諸施策を実施して参ります。

「平成二十三年度町政執行の目標」

- 1 力強く歩む活力ある産業のまちづくり
- 2 健やかで笑顔あふれる思いやりのあるまちづくり
- 3 安心して暮らせる快適な環境のまちづくり

4 明日を拓く豊かな心と文化を育むまちづくり

5 協働参加で創る健全な行政のまちづくり

以下、具体的な施策について項目ごとに申し上げます。

一、力強く歩む活力ある産業のまちづくり

水産業について

● 昨年の利尻漁業協同組合の漁業生産額のうち、利尻富士町分では駕泊・鬼脇両地区で前年比一〇三％の十七億円（駕泊十一億六千五百万円・鬼脇五億三千五百万円）となつており、金額では五千八百万円の増産となりました。

この生産額に占める漁種別では、これまでトップが続いていた「ウニ」に代わり「ナマコ」が第一位となり、次に「ウニ」、「養殖昆布」、「ノナ」、「天然昆布」と続いています。これはナマコの価格上昇によつて操業者が額に汗して懸命な努力による結果が大きいと思ひますが、この価格は今年に入つてからも上昇傾向にあり三月上旬から始まる「桁曳き」や、すでに操業している磯ナマコの「タモ採り」は漁業者にとつては非常に有望な魚種となつていくことから、漁業協同組合には今後の資源管理も見据えて、漁獲サイズ、漁

獲量等々も含めて緻密で積極的な操業計画のもとに永続的な資源管理が図られるよう期待しているところであります。

また、ウニは若干の増産になっているものの、ノナは減産、昆布は天然物が減産、養殖昆布はここ数年は平均した水揚げが続いておりませんが、昨年は春の天候不順と海水温の上昇による品質の低下から価格が暴落いたしました。しかし、今年は今ところは種昆布は確保できているという話を聞きながら、春の大時化や海水温が平年並みになれば前年並みの生産が期待できるのではないかと考えています。



ナマコ漁

●港湾、漁港、船揚場では、昨年から直轄事業で整備が進められてきた駕泊

・鬼脇両港の船揚場、漁船上架施設が供用開始となるほか、駕泊港の東防波護岸、中央物揚場、用地等の改良が予定されています。また、老朽化の進行と一部に空洞化が確認されているフェリー岸壁（マイナス六、〇m）改修については、これまで関係機関に対して強く要望してきた結果、このたび直轄で調査費等が計上される予定であるとの連絡がありました。まだ不確定の要素もありますが、これが認められればフェリー岸壁改修と並行して議会の皆様に同意を頂いている「フェリーターミナル」の建設に向けての調査等が実施できるものと期待をしながら予算措置をしているところであります。

鬼脇港区については、見直しされた「駕泊港長期構想」に取り組むべき課題と整備時期、施設及び将来利用計画等も示されており、これを基に地域利用者や港湾漁港審議会に諮りながら事業を進めて参ります。

雄忠志内漁港は公共（地域水産物供給基盤整備事業）で整備が進められており、昨年より鬼脇港区内で消波ブロックを製作しましたので、今年には外防波堤の一部着工とそのブロックの据付が予定されています。

●宗谷管内さけ・ます増殖事業協会が計画している「仮称：朝日（第二）ふ化場」の建設については、従来の交付金制度から関係団体、受益者からなる「産地協議会」からの公募に変更され

ため、現在その計画と補助申請に向けての準備を進めていると聞いており、関係者の努力によって事業承認がなされることを期待しています。

●船揚場等については、地域懇談会や自治会で数年前から要望のあった野中船揚場消波提改良は道の補助制度を活用して整備を進めます。また、練泊海岸局部改良事業では、設置されている護岸（全体延長二三〇m）の嵩上げ改良を実施することになっており、今年には船揚場側から旭浜側への二〇mを実施する予定であります。

●鬼脇地区で大きな問題になっている「ヨレモク」については、鬼脇集落で離島漁業再生支援交付金事業による除去を計画していますが、町としてもこの現状と対策を検討するため、繁茂状況調査を水産指導所、漁協と一体となって実施し、この分析結果によっては補助制度を活用しながら新たな取り組みを検討したいと考えています。

観光について

●昨年の観光入込客数は、上期で一九、二〇〇人で前年比で九五・五％となっており、宗谷管内全体の九三％に比較すると本町の観光関係業者の努力が実を結んだ結果とも言えますが、依然として厳しい状況が続いていることに変わりはありません。こうした中でも宿泊客の延べ人数では礼文町の八・六％と比較すると、本町は前年並みの

実績となつていていることに対して関係各位のご尽力に敬意を表しているところであります。

●今年の観光施設整備では、地域からの要望のあった「ペシ岬展望台遊歩道」の整備を行います。工法については環境省が利尻山登山道の整備で行っている「近自然型工法」の導入も検討しながら必要な整備を実施します。北麓野営場は、環境省、森林管理署、観光協会など関係機関も含めて整備についての協議が整いましたので、「滞在型・体験観光施設」として再整備を図ります。

●観光振興策については、これまでも関係機関と連携を密にしながら誘致、宣伝活動を行って参りましたが、今年



オースタムフェストの様子

も札幌で実施するオータムフェストや千歳空港で行うイベントなどに積極的に参加しながら「利尻島」をPRするほか、稚内・利尻・礼文・サロベツ観光振興協議会事業として、東京モノレール羽田空港第二ビル駅内で電照式看板（三ヶ所・五面）によるPRを一年間通して行うことになっておりますので、首都圏及び空港利用者に「道北観光」の魅力を発信できて新たな顧客を発掘できるのではないかと考えています。

●観光情報発信では、観光協会が事業主体となって実施している「モニターツアー」を今年度も実施する予定であり、航空機利用促進をも考慮しながら町でも観光協会に対して支援を行って参ります。

●本年一月八日から東京ドームで開催された「全国ご当地どんぶり選手権」で「食堂マルゼン」出展の「ウニめし丼」がグランプリを獲得いたしました。関係者の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、このイベントの結果がテレビ、新聞等で取り上げられたことにより、この快挙は利尻島の観光にとっても非常にインパクトのあるものと喜んでおり、今後も観光協会、宿泊業組合など観光関係者が一体となって取り組むことよって、本町の観光産業の進展が図られものと期待をしております。



ウニめし丼

二・健やかで笑顔あふれる 思いやりのあるまちづくり

町民の皆様が心身ともに健康で健やかに生活するためには、健康の維持増進と健康に対する意識の高揚が欠かすことはできません。また、生涯一貫した健康管理体制の充実を期すためには保健、福祉、医療の三者が一体となった福祉施策の充実こそが豊かな人生を歩む上で最も大切になると思っております。

これからも福祉施策の根幹である社会弱者の支援と健康保持のため、社会福祉団体や地域住民、自治会等が一体となり「人の和と絆」を深めながら、町民皆様との対話を重視し、「健康つ

くりと生きがいのある福祉の充実」を目指して積極的に対応して参ります。以下、主な執行施策を申し上げます。

保健・医療関係について

●保健では、義務化された「特定健診・特定保健指導」を徹底し、集団健診を実施するほか、がん対策推進基本法に基づく各種がん検診、予防接種では、インフルエンザワクチン接種を始め、中学一年生から高校一年生までの女子生徒を対象に「子宮頸がんワクチン接種」を実施します。また、乳幼児健診、乳幼児の医療費の助成などの育児支援や妊産婦健診の支援もこれまで同様の内容をもって実施します。

生活・環境整備について

●生活環境整備では、保健福祉センターの屋根の防水工事、二十三年経過した霊柩自動車の更新、駕泊火葬場の火葬炉の改修も行います。

●医療体制については、駕泊診療所、道立鬼脇診療所と連携を密にしながら町民の医療を守るとともに、希望者には訪問診療を実施するなど今後も安心と信頼を得ることができると診療体制を充実させ、疾病の予防、早期発見に対処できるよう保健福祉センターとの連携のもと保健医療サービスの向上に努めます。

地域福祉関係について

●地域福祉の関係では、保健、医療、福祉の各分野が連携を強化して適切な支援を行いながら地域福祉の充実を図ります。このため、ひとり親家庭等の医療給付事業の継続と高齢者には必要な見守りや交流などの生活支援の相談体制を充実させるとともに、低所得者層を対象に燃料購入扶助も前年実績のもとに予算計上しています。

高齢者福祉について

●高齢者福祉では、六十五歳以上が占める高齢化率は三五%となり、本格的な高齢化社会を迎えている中で虚弱や障がいを持つ高齢者も多く、これまで



高齢者スポーツ大会の様子

家庭や地域で担ってきた介護のあり方にも変化が生じてきていることは否めません。このため、高齢者やその家族に対して介護予防や訪問介護など日常生活支援をより充実させるため、今年度予算で六十五歳以上の高齢者台帳を整備し、必要な要援助者の情報収集、情報の共有に努め、地域の見守りと高齢者の支援活動を積極的に推進します。

●敬老バスについては、これまで七十歳以上の希望者にはバス券を年間三千円、回数券一千円の負担をお願いしておりましたが、町民からのご協力によって財政もある程度の安定を図ることができましたので、今年度からバス券の希望者には一千円に減額して負担軽減を図り、これが高齢者の方々が進んで外出しながら心や体の健康に役立つことができれば幸いです。

●介護サービス施設である「特別養護老人ホーム、デイサービス、老人保健施設」の運営にあたっては、「入所する人も人」、「利用する人も人」、「介護する人も人」という概念の中で、違うのは介護する「人」は職員（公務員）であることを自覚しなければなりません。このことを意識しながら職員は全体の奉仕者たる使命をもって入所者や利用者への意思及び人格を尊重しながら満足できる施設サービスの向上が図られるよう従事職員の指導を徹底します。

障がい者福祉対策について

●障がい者福祉では、「障がい者自立支援法」に変わる新たな総合的な福祉法制をもって実施される予定です。このため、新制度施行までは低所得者の障がい者には福祉サービスや補装具に係る利用者負担が無料の負担軽減措置が講じられているとともに、島外施設入居者の生活や自立のための就労支援は、今後も確保できるように新制度の内容を見極めながら適切に対応いたします。

児童福祉・少子化対策について

●児童福祉関係では、保育ニーズの多様化に対応しながら、職員の配置規準を順守した体制をもつて万全を期して参ります。また、篤泊保育所の駐車場や遊具の整備、一部公園化を図りながら環境整備を実施するとともに、保育料については、これまでの方針に従い料金改正を行います。今後三年間で国の基準の八〇%まで引き上げること前提に高額負担に配慮した改正を行いますのでご理解願います。

●国の施策である「子ども手当」は、今年度の国の方針内容は先行き不透明といわざるを得ません。このため、支給額や申請の方法など詳しい内容については法律の改正後にならうかと思っております。今後の動向を見極めながら国の通達があり次第速やかに住民に周知

いたします。

●少子化対策の妊産婦健診の助成、妊産婦の島外医療機関を利用する場合の出産支援、健診、分娩にかかるフェリール料金の全額補助と宿泊費の一部助成を継続するとともに、出産一時金も暫定から恒久的になり四十二万円の支給となるほか、七十歳から七十四歳までの高齢者医療は今年度も一割負担が継続されることになっていきます。

各保険制度について

●介護保険・国保事業の関係では、二十三年度で第四期介護保険計画が最終年度になることから、年度末までに次期計画のための保険給付費の推計、第一号被保険者の保険料の見直しを内容とした素案を作成し、計画策定委員会に諮問する予定です。また、国民健康保険事業については、国の税制改正により限度額の引き上げが予定されているほか、所得の把握を確実にしているから、第二回定例町議会に提案して審議して頂くことになりましたのでご理解願います。

三. 安心して暮らせる 快適な環境のまちづくり

道路市街地整備関係について

●今年度の生活基盤整備事業については、毎年実施している地域懇談会等

要望のあった事業を中心に財源が許す範囲で予算計上いたしました。その中で町道本泊三号線、野中御崎線の側溝改良、利尻空港線補修、野塚八号線改良を実施するほか、昨年度調査等を行った鬼脇「恵比寿橋」の改良架け替え、鬼脇港区の船揚場改良と漁船上架施設の完成に伴う背後の町道鬼脇十二号線改良工事を実施するとともに、本泊「運上屋跡」から漁港に繋ぐ階段は、「切石」を単純に並べた構造になっており、町の文化財になっている関係から運上屋跡周辺の環境も考慮しながら価値や時代の背景に合わせた改修整備を進めます。

●篤泊市街地道々拡幅事業は、港町から本町地区の一部まで補償が進められ、漁協施設の再編整備も行われていますが、先般、建設管理部から二十三年度の補償予定額が示されて対象者に説明会が開催されました。二十四年度以降の補償対象者にも早急に補償形態、補償金額の明示を求めていたところ、今年度中には要望に応えたいとの返事を頂いているところでもあります。また、市街地再配置計画に反映させるための期成会による沿線関係者の意向調査も纏まったことから、この結果に基づいて計画策定のための経費を予算措置しています。

●道々関係では、鯉泊地区の改良工事が進められておりますが、現在の工事箇所から雄志内側に約二〇〇mの改

良が計画されており、「仁珍橋」の架け替えと並行して簡易水道水管橋についても改修する予定です。

治山・治水・砂防関係について

●治山・治水・砂防関係では、建設管理部署で雄志内川、アフトロマナイ川でそれぞれ床固工改良のほか、豊漁沢川の除石、流路工改良も予定されています。総合振興局はヤマナイ沢川の排土を実施するほか、森林管理署では、ヤマナイ沢川の谷止工補修も予定されており、さらに、町では鯉泊地区の「鯉泊橋」の山側に小規模治山工事を実施する計画であり、これらの事業によって地域住民の安心・安全の確立と漁業被害の防止が図られるものと期待しています。

防災・交通安全対策について

●安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、防災・消防機能の整備と併せて住民自らの防災意識の高揚、そしてスピードある防災情報の伝達が必要とされています。このため、消防庁や気象庁から自治体に直接通報される地震や気象の緊急情報「全国瞬時警報システム」が本町も三月から稼動し、四月には利尻富士町情報通信基盤施設が供用開始されて防災無線に変わる緊急災害時の住民への迅速な情報伝達が可能となります。

●利尻富士町の交通事故死ゼロは、一



交通安全大会

月三十一日(二)、〇〇〇日を達成いたしました。その達成と併せてこの事故死ゼロの記録継続の願いを込めて、先般、利尻富士町交通安全大会を開催し、悲惨な交通事故から町民の尊い生命を守るべく「交通安全宣言」を行ったところでもあります。これからは関係機関、関係団体と連携を密にしながら交通安全教室の開催や職場訪問、街頭啓発に取り組みますので町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

四. 明日を拓く豊かな心と文化を育むまちづくり

※教育行政施政方針参照

五. 協働参加で創る健全な行政のまちづくり

町民との協働関係について

利尻富士町には、豊かな自然や水と温泉という「天与からの恵み」が豊富にあることと併せて、日本海の海や日本最北の名山「利尻富士」という誇れる貴重な財産を有しています。特に、離島ということではハンデではなく「地の利」であるという認識のもと、そこに住む先人達が一三〇年という歴史を刻んできました。その歴史の中で培ってきた「人の和」は何事にも替えがたいものであり、その財産を引き継ぎながらまちづくりを進めなければならぬと思っています。

幸いにして、本町の地域コミュニティは最も誇れるものであり、「住民自治」の確立に向けて積極的に情報を共有しながら、これからも公正・透明な開かれた行政を目指して町政運営を行いますので、これまでと変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十三年度財政運営について

●本町の財政状況については、町民の皆様への行財政改革へのご理解とご協力のもと、二十一年度決算では一般会計、全特別会計とも黒字決算を続けており、二十二年度の決算見込みでも同様な数

値になるべく財政運営を行っています。刻々と変わる国の方針と動向は地方公共団体の行政運営に大きく影響されるものであり、特に、本町のように税収が少なく地方交付税に頼らざるを得ない小規模町村は、極めて厳しい状況に置かれていると考えています。このため、投資的経費の精査・重点化など健全財政の取り組みを強化し、地域経済や町民生活に目線を合わせた事業の展開を図らなければならず、緊急性や必要性の「選択と集中」を誤ることなく、住民生活の向上のために効率的な財政運営を行って参ります。

●二十三年度の予算編成にあたっては、経常的な事務経費の抑制を図りつつ、子育て支援や高齢化社会に対応した施策の継続のほか、安全・安心や地域の元氣回復などの政策課題に取り組み、町内経済の活性化や雇用対策を図るための建設事業にも配慮した予算配分を行っています。

●その中で、一般会計の事業費は十億五千八百八十八万二千円を確保しているほか、二十二年からの繰越明許費で実施する「地域活性化交付金」で八千万円、教員住宅整備事業で二千二百三十二万円、道々拡幅用地取得事業で一億五千九百九十九万一千円、総額二億五千三百九十一万一千円を二十三年度に繰越すことになっています。

●また、簡易水道事業特別会計を除く各特別会計への繰出金は総額で三億六

平成23年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

	事業名	事業費
総務費	自治会館等整備事業補助金	710
	役場庁舎外壁等劣化診断調査業務委託	3,000
	総合行政システム購入（徴税）	2,602
	操業行政システム購入（戸籍）	2,526
	計	8,838
民生費	鴛泊保育所環境整備工事	4,316
	計	4,316
衛生費	保健センター屋根防水工事	8,820
	計	8,820
農林水産業費	小規模治山事業	12,600
	二石土捨場用地測量業務委託	1,200
	離島漁業再生支援交付金	49,912
	漁業振興施設整備事業補助金	20,000
	漁業施設再編対策事業補助金	11,220
	野中船揚場整備工事	23,000
	計	117,932
商工費	北麓野営場整備工場	160,000
	北麓野営場整備工事立木補償費	200
	ペシ岬遊歩道整備工事	48,000
	計	208,200
土木費	町道改良工事	20,800
	町道側溝改修工事	6,600
	町道補修工事	5,000
	鴛泊市街3号線取付道路新設工事	2,500
	恵比寿橋改良工事	90,000
	恵比寿橋改良工事支障物件移転補償費	5,500
	鴛泊港維持補修工事	1,225
	鴛泊港整備事業負担金	41,000
	利尻富士利尻線交付金（交安）工事用地取得事業	459,604
	鴛泊市街地再配置計画策定業務委託	1,500
	飛行場標識施設補修工事	2,055
	計	635,784
消防費	屋外防災スピーカー設置工事	1,863
	防災無線アンテナ等撤去工事	5,765
	計	7,628
教育費	利尻小学校修繕工事	2,200
	鴛泊小学校グランド補修工事	2,615
	鴛泊中学校大規模改修実施設計業務委託	1,848
	鬼脇中学校修繕工事	2,200
	郷土資料館改修工事	2,500
	パークゴルフ場改修工事	1,535
	総合体育館屋外タンク設置工事	1,466
	計	14,364
	合計	1,005,882

千五百八十八万九千円、利尻郡清掃施設組合など二部事務組合の負担金で四億三千八百四十四万九千円を予算計上しているところであります。

●その結果、一般会計歳入歳出予算の総額は四十一億三千七百万円となり、一方、特別会計においては、簡易水道事業特別会計のほか九会計で総額十八

億五千六十四万九千円で四・二％の増額予算となっております。一般会計・特別会計の全会計の総額では五十九億八千七百六十四万九千円（△一・一％）の予算規模となりました。

以上、平成二十三年年度の町政執行に臨むにあたり、所信の一端と主要な施策を申し述べましたが、国の政策が大

きく転換しようとする中で、行政の最前線となる基礎自治体の役割は益々重要になっており「ふるさと利尻富士町」に暮らす町民一人ひとりが夢と希望、さらには生きがいをもって働き、安心して生活できる地域社会の構築を目指して全力を傾注して邁進いたしますので、今後とも町議会の皆様を始め町民

各位の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。町政の執行方針といた

平成23年度 教育行政 執行方針



平成二十三年
第一回利尻富士
町議会定例会の
開会にあたり、
利尻富士町教育
委員会の平成二
十三年度教育行
政執行方針を申
し述べますので、

町の皆様のご理解とご支援を賜ります
ようよろしくお願い申し上げます。

わが国の教育を取り巻く環境は、経
済状況の悪化による雇用・生活不安の
増大や少子高齢化の一層の進行、高度
情報化の進展とモラルの低下などを要
因として大きく変化しており、子ども
の学ぶ意欲や学力・体力の低下、問題
行動、家庭・地域の教育力の低下など
の課題が指摘されております。こうし
た中で、教育改革も急速に進められ、
子どもたち一人ひとりに「自立した生
き方を支える確かな学力の育成」、「社
会の変化に対応する力の育成」、「豊か
な人間性の育成」に取り組むため、学
校・家庭・地域がそれぞれの役割と教

育機能を発揮し、地域全体で子どもを
育むという地域の教育力の重要性が高
まっています。

このことから、教育委員会といたし
ましても、「すべては子どもたちのた
めに」という基本にたつて、「生きる
力」を支える「確かな学力」「豊かな
心」「健やかな体」の調和を重視した
教育活動に努めるとともに、町民一人
ひとりが生涯にわたり、「いつでも、
どこでも、だれでも」学ぶことができ
その成果を活かすことができる生涯学
習の充実を図ってまいります。

一・学校教育の推進について

小学校では、新学習指導要領が全面
実施されることから、各学校におい
ては、適切な教育課程の編成・実施、指
導方法の工夫が重要となってきます。

本町においては、しっかりとした
「生きる力」を身につけさせるため、
「利尻富士町学校教育推進計画（平成
二十一年度～平成二十五年年度）」を指
針とし、確かな学力の育成や豊かな心
と健やかでたくましい心身を育み、学
校・家庭・地域の強い連携の下、利尻
島ならではの豊かな自然環境を活用し
子ども視点に立った特色ある教育活
動を推進してまいります。

（一）確かな学力の向上をめざす

教育の推進

●学力向上の取り組みにつきましては、
平成十九年度から文部科学省による全
国学力・学習状況調査に参加していま
すが、平成二十二年度の結果を見ると、
小中学校とも全体で全道平均を上回っ
ており、全国との比較においては、中
学校ではすべての教科で上回っていま
すが、小学校では算数がやや下回って
いる状況であります。教育委員会とい
たしましても、改善プランに沿った支
援に努めるとともに、家庭学習を含め
た各種テキストなどの購入のために必
要な予算を引き続き措置し、学校と一
体となつて「確かな学力」の向上を推
進してまいります。また、平成二十三
年度から小学校用教科書が改訂される
ことから、教職員が効率的で統一的な
授業を行うことができるよう教師用指
導教科書の整備を図ります。

●情報教育につきましては、情報を正
しく利用するモラルやマナーの育成な
ど総合的な情報教育に取り組んでまい
ります。

●国際理解教育は、異文化に触れるこ
とや基礎的語学力の向上を図るため、
一昨年からは利尻町と共同で配置してい
る外国語指導助手（ALT）や宗谷教
育局の支援によるALTの派遣事業を
引き続き行い、中学校では、英語学習
の充実や基礎的・基本的なコミュニケ
ーション能力の向上に努めるほか、小

学校においては、平成二十三年度から
必修となる外国語活動の円滑な導入に
向け、引き続き外国語教育活動を予
算計上しております。

●特別支援教育につきましては、障が
いの状態や発達段階に応じた、一人一
人の教育的ニーズを把握し、特別支援
学級補助員を配置するなど、適切な指
導や必要な支援を行います。

●本泊小学校の統合につきましては、
本泊小学校PTA及び本泊・富士岬・
大磯自治会より、今後のあり方を検討
した結果、保護者の願いを重視するこ
ととし、平成二十四年三月三十一日
をもって同校を閉校し、駕泊小学校に統
合したい旨要望がありましたので、今
定例町議会に議案として関係条例の一
部改正案を提案しているところであり
ます。この統合は、複式校から単式校
への移行のため、今年度は移行するた
めのカリキュラムや子ども同士のコミ
ュニケーションにも意を配しながら、
学校間の相互の連携を密にした教育活
動の展開を図ってまいります。

（二）豊かな心と健やかな成長を

育む教育の推進

●生命を大切にできる心や思いやりの心、
美しいものに感動する心など、豊かな
心と感性を育むため、各学校では、道
徳の時間をはじめ、各教科や特別活動
など学校の教育活動全体を通じて道徳
教育の充実に向け、家庭や地域と連携

を図りながら、ボランティア活動などの社会体験や利尻島ならではの豊かな自然環境を活用した特色ある教育活動を推進します。

●健やかな体づくりにつきましては、児童生徒の体力や運動能力の低下が指摘されており、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための基礎を培う体育授業の充実や、運動部活動・少年団活動の支援に努め、また、疾病の予防や早期発見のための各種検診や保健指導を充実させ、子どもたちが将来にわたって自分自身の健康管理ができるよう、学校・家庭・地域が一体となつて食育の充実を図つてまいります。

●保護者などへの教育費支援につきましては、経済的な理由により負担が困難な児童や生徒の保護者に対し学用品や給食費などの就学援助を行うほか、高校生や大学生には奨学金を貸与し、引き続き経済的負担を軽減して幅広く有能な人材の育成を図つてまいります。

(三) 信頼される学校づくりの推進

●各学校においては、家庭や地域に学校経営方針等を説明し理解を得ることや地域活動への積極的な参加など、家庭や地域社会との連携、地域の自然や歴史・伝統・文化などを生かした特色ある学校づくりを目指し、創意に満ちた学校教育目標を掲げて日々努力しており、その教育目標の実現を図る教育活動についての自己点検・自己評価及

び外部評価の取り組みを積極的に進めながら、情報提供や広報活動を充実し開かれた学校づくりの推進に努力しておりますので、教育委員会としても目標がより効果的に達成できるよう支援してまいります。

●直接児童生徒の教育に携わる教職員には、各学校における校内研修はもとより、初任者研修や町教育研究会の研修・研究活動を支援するとともに、北海道教育委員会が実施する各種研修への参加促進を図つてまいります。

(四) 安全で快適な教育環境の充実

各学校においては「事件・事故はいつでもどこでも起こりうる」との認識のもとに、地域や関係機関と連携し子どもたちの安全を守るため、学校安全計画や危機管理マニュアルを作成し「安全・安心」の学校づくりに努めております。不審者による事件、事故などの被害から子どもたちを守るため、青少年健全育成町民会議が中心となり、地域全体で子どもたちの安全を確保する体制づくりを進めてまいります。

いじめや不登校につきましては、将来において自己実現ができるような力の育成と、「いじめは人間として絶対に許されない」との認識に立った指導の徹底に努め、学校・家庭・地域が一体となって、いじめ根絶に向けた取り組みを進めてまいります。

一. 社会教育の推進について

心の豊かさをもたらす潤いのある地域づくりを目指し、行政はもとより学校・家庭・地域が相互に連携・協力しながら、社会の要請に応える学習機会を提供するとともに、豊かな自然や人材などの地域の特性を活かした学習資源を活用し、社会教育活動の推進に努めてまいります。

(一) 生涯学習の推進

●町民一人ひとりが生涯にわたつて学習することができ、その成果を社会の中で活かすことができる生涯学習社会を実現するため、平成二十三年度から十年間の新たな「利尻富士町生涯学習推進計画」を策定し、趣味や教養、芸術文化、スポーツ、ボランティア活動など多様な学習機会を通じて、子どもから大人まで人と人がふれあい、町民一人ひとりが生きがいをもって生活できるよう、関係団体と連携を図りながら生涯学習を推進してまいります。

●公民館については、地域住民の交流の場として最も身近な社会教育施設でありますので、地域に密着して広く仲間づくりができるよう、今後も各種団体と連携・協力しながら、心の豊かさを実感できる事業を展開してまいります。

●読書活動は、豊かな感性や情操を育むとともに子どもたちの知性を高め、



読み聞かせ活動

現在や将来の生活を方向づけるなど、人間形成の上で大切な活動です。そのため、「子ども読書活動推進計画」を策定し、総合的かつ計画的な施策の推進を図つてまいります。また、母子のきずなを深める「ブックスタート事業」や、図書ボランティアによる「読み聞かせ活動」を引き続き実施するとともに、図書台帳の整備を図り、読書環境の充実に努めてまいります。

(二) 青少年の健全育成

利尻富士町青少年健全育成町民会議などの関係機関、団体との連携を図りつつ、今年度においても、地域住民がボランティアとして、自らもつていく知識や技術経験を子どもたちの教育

に生かす学校支援地域本部事業を展開し、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを進めてまいります。

次代を担う心豊かな子どもたちを育成するため、北海道ジュニアセミナー事業への参加を継続するほか、利礼三町児童交流事業をはじめ、様々な機会をとおして、児童生徒や異世代との交流を進めてまいります。

放課後子ども教室推進事業につきましては、充実した指導体制により、水泳教室・書道教室・カルタ教室・サッカー教室など年間をとおして沢山の児童が参加しており、特に学校長期休業期間に開催している「夏休みチャレンジ教室」や「冬休みチャレンジ教室」は、参加者に限らず保護者の方々から



冬休みチャレンジ教室

も非常に好評をいただいております。また、昨年からは、希望の多かった平日にも放課後子ども教室を開催し、子どもたちの安全・安心な活動拠点づくりに取り組んでおり、今年度においてもこれらの事業を継続し、放課後や週末、長期休業時に子どもたちが地域社会の中で安全で安心して過ごせる場の提供を図ってまいります。

(三) 文化・芸術活動の推進

本年度も利尻富士町文化協会に対する助成を継続するとともに、生の芸術に直接触れることのできる巡回小劇場の開催や、劇団四季の利尻公演など、心の豊かさや情操を高める活動を展開してまいります。また、保存会の方々の協力を得ながら、南浜獅子神楽の保存伝承を継続し町内小中学生による民俗芸能や伝統文化に関する活動を推進してまいります。

文化財の保護と活用につきましては、郷土資料館の改修を実施するとともに、各分野にわたり町内外に埋もれている郷土資料の収集、調査を継続して行い、情報を整理して郷土資料館などでの展示や学校教材として利活用するほか、学芸員による出前講座など各種事業の推進、さらに町広報紙、文化財だより「ボンモシリ」などを通して、広く地域住民に周知してまいります。

また、発掘調査を実施した利尻富士町役場遺跡の埋蔵文化財につきまして

は、その成果を地域住民に周知するため、出土遺物をりつぷ館に展示するとともに、説明パンフレットの作成や学芸員による講演会、出前授業、遺跡めぐりなどを実施し、住民と埋蔵文化財を結びつけた「知の拠点づくり」を推進してまいります。

(四) 健康づくり

スポーツ活動の推進

本町では、サッカー、野球、スキーなどの競技スポーツの他、パークゴルフ、ミニバレーなどのニュースポーツも盛んに行われてきましたが、近年の少子高齢化に伴い、少年団が少なくなり、スポーツ団体加入者も固定化・高齢化するなど活動がなかなか広がっていない状況にあります。そうした現状を改善し、スポーツを通して住民同士の交流を深める具体的な取り組みとして、この度、体育協会の理解と協力をいただき、総合型地域スポーツクラブ「利尻富士RIPS」が設立されました。教育委員会といたしましては、「利尻富士RIPS」をはじめ、体育協会などスポーツ振興に取り組む団体を積極的に支援し、連携しながら、生涯各期にスポーツ・健康づくりの活動に気軽に参加できる環境整備に努めてまいります。

年間を通してスポーツ活動の拠点となる総合体育館をはじめ、パークゴルフ場、町民プール、スキー場などの体



利尻富士RIPS スポレック体験会の様子

育施設にあつては、利用する方々の利便性や安全性を考えながら、施設の改修や適切かつ効率的な施設運営に努めてまいります。

以上、平成二十三年度の利尻富士町教育委員会の教育行政執行方針について申し述べましたが、その執行にあたっては各関係機関、団体との連携を図りながら、ふるさと利尻富士町の未来を担う子供たちの健やかな成長と、創造性豊かな特色ある生涯学習社会の充実に向け一層努力してまいりますので、町議会の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

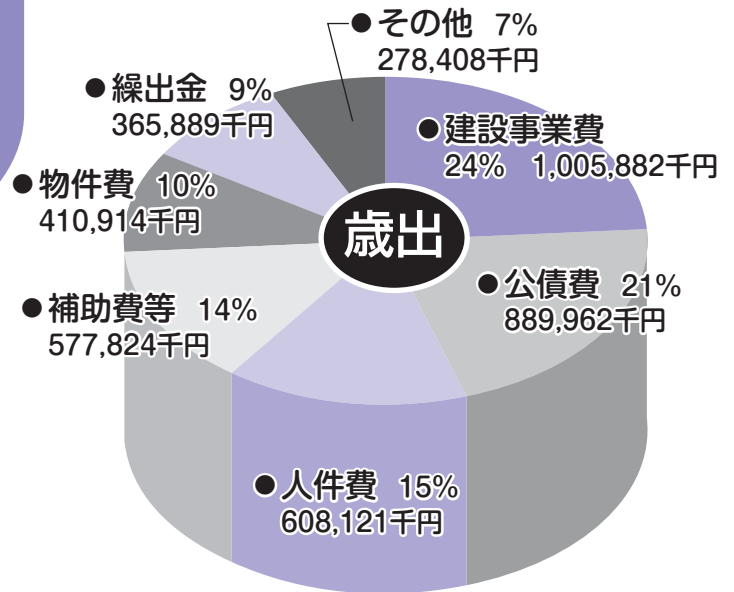
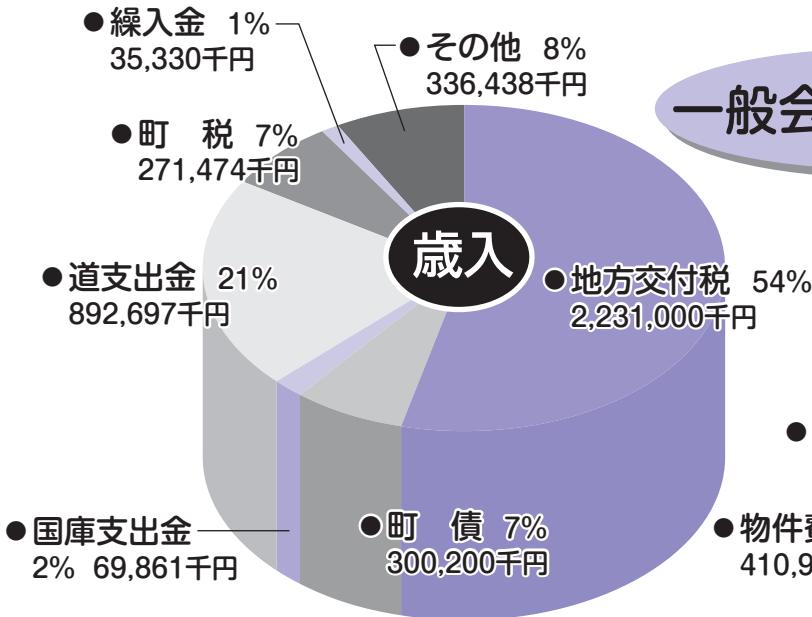
一般会計の歳入・歳出予算額は…

41億3,700万円

平成23年度の当初予算額は、前年度比3.3%の減となっております。特別会計の合計18億5,064万円と合わせた町の予算総額は59億8,764万円で、平成22年度当初予算と比較すると、約1.1% (6,881万円) の減額となります。

平成二十三年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



■特別会計予算は

単位：千円

	平成23年度	平成22年度	比較
簡易水道事業特別会計	83,809	76,621	9.4%
下水道事業特別会計	275,773	260,283	6.0%
港湾整備事業特別会計	51,990	5,345	872.7%
温泉事業特別会計	65,733	65,843	△ 0.2%
国保事業特別会計	456,988	452,993	0.9%
後期高齢者医療特別会計	40,594	41,699	△ 2.6%
介護保険事業特別会計	306,287	294,382	4.0%
介護サービス事業特別会計	456,910	463,868	△ 1.5%
歯科施設特別会計	42,336	42,279	0.1%
国保施設特別会計	70,229	72,477	△ 3.1%
老人保健特別会計	廃止	660	△100.0%
合計	1,850,649	1,776,450	4.2%

■目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	55,783
総務費	398,210
民生費	458,325
衛生費	330,247
労働費	132
農林水産業費	153,977
商工費	358,673
土木費	1,067,775
消防費	169,887
教育費	244,891
公債費	889,962
諸支出金	6,137
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	4,137,000

平成23～
32年度

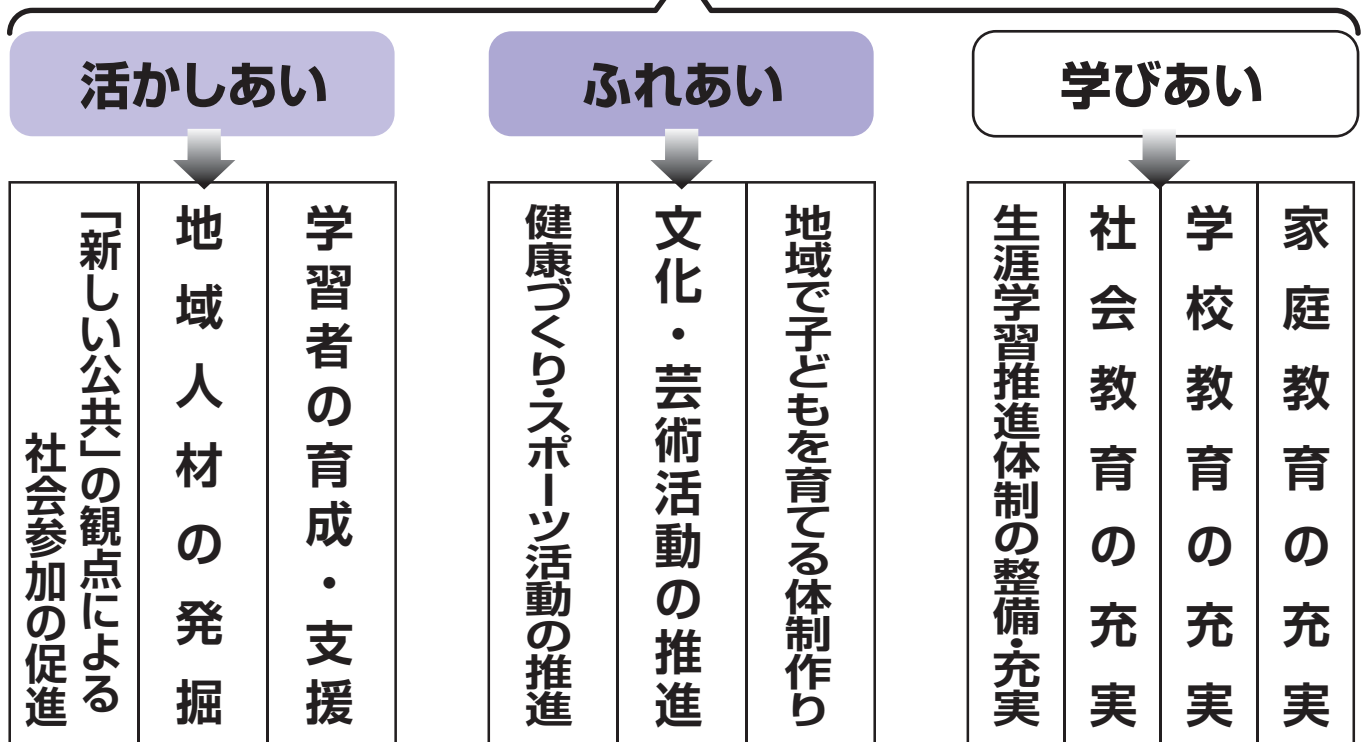
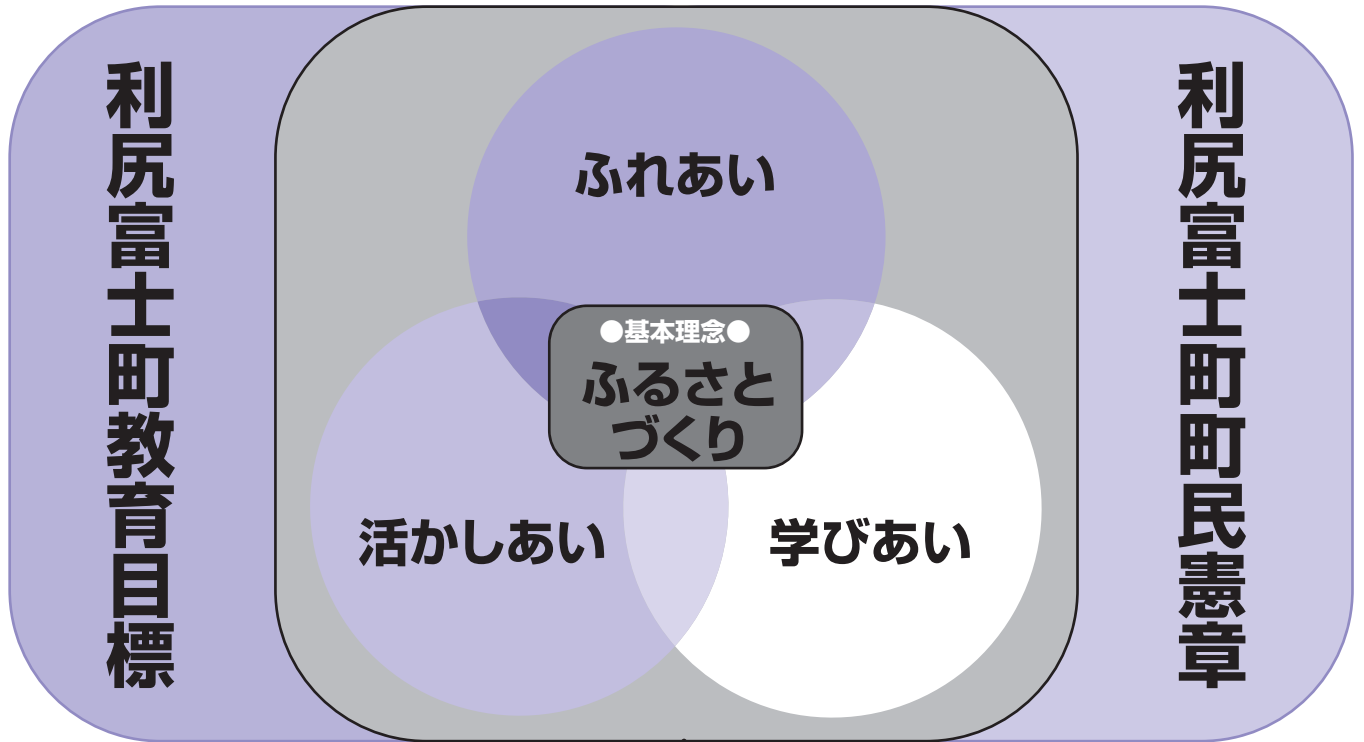
新 生涯学習推進計画を策定!!



平成13年に策定した「利尻富士町生涯学習推進計画 ～21世紀の生涯学習社会を確かなものにするために～」が平成22年度をもって終了することから、「生涯学習推進計画策定委員会」では、新たな計画を策定するため1年をかけて審議を進めてきました。この度、策定された「利尻富士町生涯学習推進計画 ～明日をになう、心豊かな人づくりと、文化を育むまち～」は、利尻富士町の「町民憲章」と「教育目標」を具現化し、元気な「ふるさとづくり」を目指して策定されたものです。

スローガン

明日をになう、心豊かな人づくりと、文化を育むまち





具体的な取り組み例



多くの親が集まる機会を利用した子育て情報の提供。

(家庭教育の充実)



釣り教室など、地域の特性を生かした教育課程の充実。

(学校教育の充実)

各ライフステージに合わせた学習機会の充実。

(社会教育の充実)



子どもチャレンジ教室など、地元ボランティアを活用したリーダーの育成・体験活動の充実。

(社会教育の充実)

ふるさとづくり



琴サークルの出前授業など、地域の教育資源・人材の活用。

(地域人材の発掘)



図書ボランティアサークルの読み聞かせなど、地域の学校支援活動。**(地域で子どもを育てる体制作り)**

ボランティア活動や、地域活動への積極的な参加の呼び掛け。**(「新しい公共」の観点による社会参加の促進)**



総合型地域スポーツクラブなどの、文化・スポーツ団体の支援。**(文化・芸術活動の推進)**
(健康づくり・スポーツ活動の推進)



☆教育委員会では、地域の方のボランティア参加を大募集しております。人材バンクへ登録を希望される方は、下記連絡先まで連絡ください。お待ちしております！

★各種お問い合わせは：教育委員会 社会教育係 (82-1370) へ

☆計画に関する詳細は：利尻富士町HPから生涯学習のページへ！！



続きは**WEB**で!!

利尻富士 生涯学習

検索

平成23年度自動車税の納期限は5月31日(月)です。

納期限までに納めましょう。

◎納期限までに納税されない場合は、年14.6% (納期限の翌日から1ヶ月を経過する日までの期間は年4.3%) の割合で延滞金がかかります。

◎自動車税は次の場所で納税できます。(町内の金融機関、郵便局 ・ セイコーマート)

【問い合わせ先】 北海道宗谷総合振興局地域政策部税務課納税係
〒097-8558稚内市末広4丁目2-27 電話：0162-33-2520 (直通)

わがまち
タイムスりっぷ

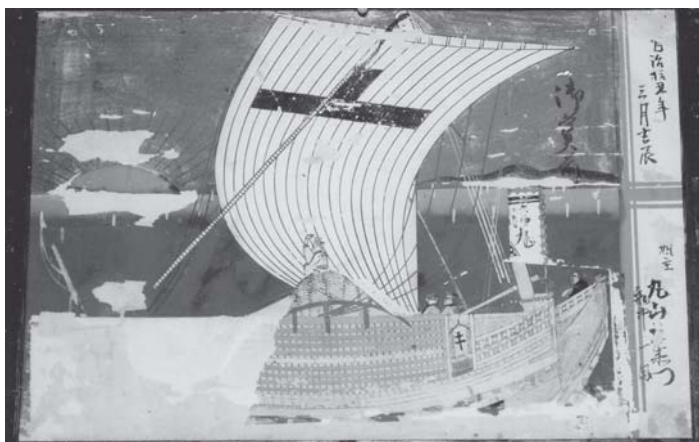
連載②⑥

航海安全を願う

ふな え ま
～船絵馬～

利尻島の神社には、数多くの絵馬が残されています。絵馬は、古代にまでその起源をさかのぼり、神社に生きた馬を奉納したことに始まります。その後、いろいろな祈願のために絵に描いた馬や武者などが納められるようになります。北海道では、北前船による本州との海運が盛んであったため、船絵馬が多くみられます。

利尻富士町には、8カ所の神社に50点弱の絵馬が奉納され、現在も残されています。その多くは、明治時代から昭和初期にかけてのもので、航海安全を願い船頭などによって奉納されたものが主体です。なかでも石崎神社には、明治時代を中心に全体数の半分が納められていることから、その頃にニシン漁や海運がさかんであったことを物語っています。



明治15年
旭浜神社に奉納された船絵馬
(弁財船)



明治21年
石崎神社に奉納された武者絵馬
(弁慶と牛若丸)

ご意見や情報は、教育委員会 山谷（電話82-1370）までご連絡下さい。

6月1日は「人権擁護委員の日」

全国一斉「人権擁護委員の日」特設相談所開設のお知らせ

架空請求、育児の悩み、近隣との争い、家庭内トラブル（夫婦・離婚・扶養・相続）、借地、借家、不動産売買、金銭貸借、学校での「いじめ・体罰」など多岐の相談に応じます。難しい手続きもありませんし、相談は無料です。相談内容についての秘密は堅く守られます。日程については下記のとおりとなっておりますので、どうぞお気軽にお越しください。

◆日時／平成23年6月1日(水)
午前10時から午後3時まで

◆場所／利尻富士町総合交流促進施設
『りぷら』(会議室)

北海道からの権限委譲に伴って

平成23年6月1日から
パスポートの申請・交付業務を開始します

利尻富士町では、平成23年6月1日から、北海道からの権限委譲により、地元でのパスポートの申請・受取が可能となります。

これにより、原則としてこれまでの道の窓口（宗谷総合振興局）は利用できなくなりますのでご注意ください。

※ただし、次の場合は道の窓口での取扱となります。

北海道の窓口を利用できる場合（6月1日以降）

理由	旅券窓口の場所
海外で親族等が病気、事故等による死亡等により緊急に渡航する必要がある場合	宗谷総合振興局総務課
外国での業務等により早期に渡航する必要がある場合	
通勤・通学等で利尻富士町以外に居住されている場合	通勤・通学先の最寄の振興局等の道の旅券窓口

【申請・交付場所】

役場（1F）福祉課国保衛生住民係

【取扱時間】

月曜日～金曜日の
午前8時30分～午後4時
※土・日・祝日・年末年始を除きます。

※午後4時以降も受け付けますが、その際は翌日の取扱となります。

【対象者】

利尻富士町に住民登録をしている方

【交付までの所要日数】

およそ14日間
※土・日・祝日・年末年始を除きます。

【申請に必要な書類】

- ① 一般旅券発給申請書（1通）
 - ② 戸籍謄（抄）本
- ※発行日から6ヶ月以内のもの

③ 写真（縦4.5cm×横3.5cm）（1枚）

※できるだけ、写真店等でパスポート用として撮影

したものと

④ 本人確認用書類（運転免許証等）

⑤ 前回取得した旅券

※①②は福祉課備付、若しくは同課で取得するものです。

【手数料】

一般旅券手数料

有効期間	申請時の年齢	収入証紙	北海道収入証紙	合計
10年	20歳以上	14,000円分		16,000円分
	12歳以上	9,000円分	2,000円分	11,000円分
5年	12歳未満	4,000円分		6,000円分

《問い合わせ先》
福祉課国保衛生住民係

TEL 82-11113
内線 132-135



ベビートーク

4人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



おがたかほ
尾形 桂歩 ちゃん
H22. 8. 23 生
【両親】 宗威・陽子
【住所】 栄町1

はじめましてカホです。いつもお兄ちゃんの後を追いかけて一緒にイタズラしてママを困らせて遊んでいます。イタズラっ子のカホをよろしくをお願いします。



えさしかあん
江刺家 杏 ちゃん
H22. 10. 6 生
【両親】 堂真・朱美
【住所】 富士野

はじめまして「あん」です。男の子によく間違われちゃう杏だけど、「かわいい」って言葉が大好きな女の子です♪町で見かけたら声をかけて下さいね。最近のマイブームは愛犬の毛を引き抜く事と強力かかと落として～す(^^) みなさんよろしくね♥



かなざわ いつき
金澤 樹くん
H22. 11.10 生
【両親】 則義・美咲
【住所】 本町

はじめまして「いつき」です。
今は小さな樹(き)だけで
少しずつ大きくなって足元に
きれいな草花がたくさん咲い
ているそんなイメージでパパ
が命名してくれました。

まだ、ママのおっぱいですが、
いとこのお兄ちゃん達と遊ぶ
日を楽しみにしています。
いっちゃんと呼んでね。



みうら あみ
三浦 愛美ちゃん
H22. 11.20 生
【両親】 淳志・恵美
【住所】 栄町1

はじめまして愛美です。
生まれた時からおしゃべり
が大好きで、ママやパパ達の
口の動きを真似ては「ふあ〜」
と自分も一生懸命口をパクパ
クさせてしゃべっています。

ちょっと人見知りしますが、
宜しく願います。

▽▽▽▽ 警察官ご紹介



鷺泊駐在所
氏家 信行

4月の異動で紙とホッキ貝で有名な苫小牧から来ました。
地球温暖化の影響で自然災害が全世界で発生しています。この島では、海や山に係
わった災害の発生、及び、それに伴う電気や水の供給ストップ等の不測の事態が予想
されます。

その時のために、地域の方々との連携を密にして協力関係を確立させるとともに、
管内を隅々まで把握して、直ちに、適切に対処できるように事前準備をしっかりとやる
うと考えています。

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
前田 来夢 (らいむ)	12.9	匡・園江	三女	栄町1
松井 龍生 (りゅうせい)	2.16	英信・美どり	長男	栄町2
天内 陽翔 (ひかる)	2.17	宏之・道代	長男	栄町2
石黒 美優 (みゆ)	3.15	勝幸・直美	長女	栄町1

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
米谷 ツヤ	11.29	88歳	富士岬	籠戸 勇	2.12	75歳	本町
八森 ハナ	12.6	93歳	秀峰園	道心 和子	2.22	84歳	本泊
俵谷 健一	12.15	80歳	鬼脇2	蛸島 保	2.28	60歳	本泊
西川 ハナ	12.16	89歳	秀峰園	魚住トキ子	3.13	79歳	鬼脇1
長森 正勝	12.24	65歳	栄町2	國分キミエ	3.14	87歳	栄町2
綾女 キチ	1.14	98歳	秀峰園	川村市三郎	3.18	95歳	栄町1
西村鐵五郎	1.15	87歳	秀峰園	若木 京	3.29	87歳	二石
木村 ミツ	2.9	87歳	秀峰園				

戸籍の窓口

♡ご結婚おめでとうございます♡

月日	氏名	住所
12.24	中瀬 薫	栄町2
	柿本 昌美	大阪府
1.23	佐々木翔馬	栄町1
	小野麻理沙	富士野
2.13	八百谷優一	栄町2
	島田 祥子	栄町2
2.22	大関 託真	栄町1
	松原 綾美	栄町1
2.22	関 弘孝	清川
	佐藤 歩	清川
3.26	片川 雄斗	栄町2
	松田 彩	千歳市

編集後記

5月に入っても、気温が低く悪天候の日が多い
ですが、桜も咲き始めて遅いながらも少しずつ春
を感じ始めましたね。今年は3月に東日本大震災
が発生し、多くの方が犠牲になりました。利尻島
は直接的な被害は殆ど無いようですが、海に囲ま
れた島ということで、津波に関しては人ごとでは
無いと感じた方も多くいたかと思えます。

全国で防災に対する意識が高まっている今こそ、
「いざという時」のための「備え」をしておきま
しょう！

交通事故死
ゼロ
2,112日
5月23日現在
(5月11日2,100日突破!!)
デイトライト運動実施中

人口のうごき (平成23年4月末現在)

	男	女	計	世帯
鷺泊	967	1,050	2,017	894
鬼脇	421	470	891	487
合計	1,388	1,520	2,908	1,381
昨年	△29	△24	△53	△5